

実習について

高等部では、生徒の実態に合わせて各種の実習に取り組んでいます。これらの経験を積み重ねながら「働く力」を身に付けていきます。

○校内実習（高等部1年生）

産業現場に近い条件で長時間の作業を続けることで持続力を育てたり、職業についての自分の適性や課題に気づき、働く意欲を高めたりすることを目標としています。企業の受託作業を中心にを行っています。



○集団実習（高等部1年生）

高等部1年生の後期に自力で通勤が可能な生徒を対象として、倉敷市内の一般企業や施設で3～5人程度の集団で実習を行っています。該当の1年生にとっては、校外で「働く力」を身に付ける初めての機会です。



○現場実習（高等部2・3年生）

現場での実習を体験することを通して、働くことへの意欲を高めていきます。この経験をもとに、家庭や学校での生活を見直し、改善を図りながら将来社会で自分らしく自立できることを目指しています。

